

	民謡	軍歌	唱歌	童謡	流行歌	わらべうた
明治			○24敵は幾万 ○26一月一日 ○26天長節 ○29港 ○29夏は来ぬ ○29川中島 ○32青葉茂れる桜井の (大楠公) ○33金太郎 △33桃太郎 (桃から生まれた) ○33鉄道唱歌 ○33花 (合唱曲) △34うらしまたろう (子供のなるぶ亀を) ○34荒城の月 ○34お正月 ○34うさぎとかめ ○34花咲かじじい ×34牛若丸(月夜に白く) ○38美しき天然 ×38電車唱歌 ○38一寸法師 ○38戦友 ○40旅愁 △42野ばら (ウエルナー) ○42ローレライ ○43つき ○43ふじの山 △43真白き富士の嶺 (明治23夢の外) (大正5七里ヶ浜の哀歌) ○43春が来た △43虫のこえ ○43われは海の子 43水師營の会見 (軍歌の一種) ○44牛若丸 (京の五条の) ○44桃太郎 (桃太郎さん桃太郎さん) ○44浦島太郎 (助けた亀に連れられて) ○44鳩 (ぼっぼっぼっ) ○44かたつむり ○45雪 ○44汽車 ○44案山子 44日の丸の歌 ○44もみじ ○44二宮金次郎 ○44茶つみ 44池の鯉 ○45村祭り ○13冬の夜			
大正	△13串木節 ○ 草津節		△1 春の小川 △2 鯉のぼり (いらかの) ○2 海 (松原遠く) △2 冬景色 △3 おぼろ月夜 ○3 ふるさと ○7 浜辺の歌	△7 赤い鳥小鳥 ○7 雨 (雨がふります) ○7 宵待草 ○7 七つの子 ○8 お山のお猿 ○8 靴が鳴る ○8 浜千鳥	○3 カチューシャの唄 (劇) △4 ゴンドラの唄 (劇) ○6 新金色夜叉 ○10船頭小唄 (映画) ○13雉の鳥 (映画) △13月は無情 △13旅人の唄 △13ストロン節	

	民謡	軍歌	唱歌	童謡	流行歌	わらべうた
大 正				○9 しゃぼん玉 ○9 叱られて △9 十五夜お月さん △9 背くらべ ○10ゆりかごの歌 ○10赤い靴 ○10青い眼の人形 ○10てるてる坊主 ○10夕日 ○10雀の学校 △10どんぐりころころ ○10赤とんぼ ×10ちんちん千鳥 △11砂山 12ペチカ △12春よ来い ○12花嫁人形 ○12夕焼け小焼け △12肩たたき ○13月の砂漠 △13うさぎのダンス ○13証城寺の狸囃子 ○14待ちぼうけ ○14雨降りお月 △14あの町この町 ○14あめふり (あめあめふれふれ)		
昭 和 戦 前	△8 東京音頭 ○ 会津磐梯山	○12露営の歌 ×13麦と兵隊 ○19同期の桜 (昭和14) ○19ラバウル小唄	×7 ほたる (蛍の宿は) ○7 チューリップ ×7 牧場の朝 △16おうま △16たなばたさま ○16うみ (海は広いな) 16電車ごっこ 17スキーの歌 (山は白銀)	△4 まりと殿様 ×12かもめの水平 さん ○14汽車ポッポ ○16たぎび △16里の秋 (ラジオ歌謡) ○ 山寺の和尚さん ○ (わらべうた から編曲)	○1 酋長の娘 ○3 出船 △3 波浮の港 △3 アラビアの唄 (ジャズ) △4 君恋し (昭和36) ○4 東京行進曲 (映画) ○4 紅屋の娘 △5 祇園小唄 (映画) ○6 丘を越えて △9 並木の雨 △11東京ラブソディ ○12煙草屋の娘 △12青い背広で ○13旅の夜風 (映画) ○13人生劇場 △13長崎物語 ×13雨のブルース ○14旅姿三人男 ○15目ん無い千鳥 ○15誰か故郷を想わざる ○15隣組 △15湖畔の宿 ×17勘太郎月夜 ○17湯島の白梅 ○18十三夜 ○20りんごの歌	
昭 和 戦 後	○22炭坑節 ○36武田節		△ 線路はつづく よどこまでも △25夏の思い出 (ラジオ歌謡)	○22鐘のなる丘 38田さんの歌 △25夏の思い出 (ラジオ歌謡)	○23憧れのハワイ航路 ○24青い山脈 ○24銀座カンカン娘 24雪山譲歌	

	民謡	軍歌	唱歌	童謡	流行歌	わらべうた
昭 和 戦 後	年代不明 △ソーラン節 △五木の子守歌 ○黒田節 △大漁唄い込み ○花笠音頭			28雪の降る町を (ラジオ歌謡)	×25東京キッド △25あざみの歌 △35さくら貝の歌 ○28君の名は ○29お富さん △29高原列車は行く △30月がとつても青いから 31ここに幸あり 32喜びも悲しみも幾年月 33オーイ中村君 △33有楽町で逢いましょう 33南国土佐を後にして △36上を向いて歩こう 36王将 38こんにちは赤ちゃん △39幸せなら手をたたこう	

## 事例研究

〈感情発散により不安から解放される機会になった例〉

\* Cさん・79歳・女・アルツハイマー型老年痴呆  
長谷川式2.0点（重度グループ）

東北地方A市出身。尋常高等小学校卒業後、上京して産婆の仕事に就き、商業を営む。以来、主婦業のかたわら店を守っていたが、7年前の夫の死亡、続く店の改造に伴って、今言ったことをすぐ忘れる、とんちんかんな話をするといった痴呆症状出現。2年前より当センターへ通所。

昼の休憩時間や帰宅のバスを待つ時間には「あたし、お店があるから帰らなきゃ」とバスの時間を気にしたり、玄関のほうへ歩いて行ったりと落ち着かず、集中することができない。普段の活動中も集中力のスパンが短く、注意力散漫の状態であることがCさんの大きな問題点である。ところが音楽活動中には、好きな歌を一曲歌った後に「はーすつきりした」「気持ちいいねえ」と拍手をしながら喜色満面で話し、「これ、昔よく歌ったわよ」「ありがとうございます」と先程までの不安はすっかり忘れていようである。歌のジャンルは、童謡・唱歌・流行歌と幅広いが、あまり知らない歌のときは「すつきりした」という発言は聞かれず、その代わり歌詞幕（歌詞を1m四方の白い布に大きく書いたもの）を指して「次、何よ」と幕を早くめくるようスタッフをせかす。歌詞幕を使用するようになってから、歌の前後に歌詞を口に出して読むようになり「♪十五夜お月さん かあさんに もいちどわたしは 会いたいな……だって。かわいそうねえ、この歌」と言ったり、雪景色の絵を見ながら「雪やこんこ、あられやこんこ」と歌っていると、ふるさとの冬を語りだして「あーなんだか実家に行きたくなっちゃった」「皆さんをお連れしたいわ。ご案内しますよ」などと情緒豊かな発言が聞かれる。特に本人の生まれ故郷の歌「会津磐梯山」は大好きな曲で、不安な気持ちを落ち着かせるには最適の材料である。

Cさん：「帰らなくちゃ」

お茶の場面にて、Cさんは皆がお茶を前にして話をしている間、きよろきよろし始め、職員の声かけに二度・三度座りなおすが、眉間に皺を寄せて不安そうな表情で、ついに立ち上がりドアに向かう。

職員A：「Cさん、一緒に歌いましょうよ」

Cさん：「あたし、帰らなくちゃならないのよ」

職員A：「みんな一緒のバスですよ」

Cさん：「そうお。でも、家で待ってるから」

職員A：「娘さんにもここにいることを連絡したから大丈夫ですよ。歌でも歌いましょうよ」

Cさん：「それどころじゃないのよ」

キーボードで「会津磐梯山」の前奏を弾き始める。他の職員も手拍子を取りながら歌い始める。「♪イヤー 会津磐梯山は 宝のこりや山よ……」Cさんはまわりが歌い出すと、パツと輝いた笑顔で振り向き、小走りになって席につき手拍子で歌い始める。「はー、スッチョイスッチョイスッチョイナツと……はあーお次ぎの番だよ。あーどうもありがとうございましたあ」と深々とお辞儀をし、にこにことしながら白虎隊の話始める。そして、得意のせりふが出る。「みなさんお連れしたいわ。ぜひ、いらつしゃいよ」

このように音楽、特に「会津磐梯山」はCさんにとって、不安な気持ちの矛先を他へ向けるきっかけを作り、気分転換の役割を果たしている。帰宅時間までを不安定な状態で過ごすのではなく、楽しく過ごすことは大変重要なことであり、個々の得意な曲を提示者が知っていることは、対象者の情緒安定に大いに役立つと思われる。

参考文献：

- (1)遠藤英俊他：痴呆のリハビリテーション、今月の治療 8 (4)、65-70、2000.
- (2)来島修志：回想法の体験
- (3)加藤伸司：アルツハイマー型痴呆患者のリハビリテーション、老年期痴呆 9 (4)、1995.
- (4)小川修：老人性痴呆症の非薬物的アプローチ、現代医学 46 (2)、1998.
- (5)Wolf D. Oswald : Maintaining and Supporting Independent Living in Old Age、SIMA Spotlight、1997.
- (6)Hideo Sakata Neural representation of three-dimensional features of manipulation objects with stereopsis、Exp Brain Res 128、160-169、1999.
- (7)村田哲、酒田英夫、サル頭頂連合野の手操作関連ニューロンの操作目標の相対的位置選択性、日大医誌 58 (11)、1999.
- (8)遠藤英俊、熊谷隆浩、吉田勝経、武田信也、下方浩史、井口昭久、専門医に聞く 高齢者薬物療法のポイント 高齢者におけるコンプライアンスを高める患者指導のポイント、GERONTOLOGY-NEW HORIZON、メディカルビュー社、10,3,201-206,1998,7.
- (9)遠藤英俊、痴呆の予防、高齢者総合診療、毎日ライフ、毎日新聞社、5.90.1998.
- (10)遠藤英俊、超高齢化社会のパイオニア、超高齢化社会について、東海望楼、4,5-7,1998.
- (11)遠藤英俊、かかりつけ医の意見書と介護支援専門員の役割、月刊総合ケア、医歯薬出版、8(7),41-46,1998,7.
- (12)遠藤英俊、井口昭久、リハビリテーションと介護 介護保険とケアマネジャー、現代医学、46(1),125-129,1998,7.
- (13)遠藤英俊、加知輝彦、長屋政博、井形昭弘、我が国における在宅医療の展望、在宅医療の進歩、メディカルビュー社、16,13-16,1998.
- (14)遠藤英俊、長寿医療におけるデータベース作成に向けて、Geriatric Medicine (老年医学)、36(12),1747-1749,1998.
- (15)遠藤英俊、田島稔久、益田雄一郎、伊苅弘之、井口昭久、特集—長寿科学研究の将来の展望 抗痴呆薬の未来、Geriatric Medicine (老年医学)、ライフサイエンス 36(1),65-68,1998,1.
- (16)遠藤英俊、井上豊子、長屋政博、加地輝彦、武田明夫、柳澤信夫、高齢者包括医療病棟—国立療養所中部病院での試み—、Geriatric Medicine (老年医学)、ライフサイエンス、36(12),1805-1809,1998,12.
- (17)遠藤英俊、高齢者総合診療システム 長高齢社会に対応できる新しい医療システムの構築を目指して、Geriatric Medicine (老年医学)、ライフサイエンス、36(12),1731-1732,1998,12.
- (18)遠藤英俊、田島稔久、益田雄一郎、桜井孝、特集—痴呆 老人性痴呆のケアマネジメント、現代医学、46,2,195-198,1998,11.
- (19)遠藤英俊、飯島節、村上元康、松林公蔵、高齢者総合診療システムを考える、Geriatric

- Medicine (老年医学)、ライフサイエンス、36(12),1811-1822,1998.
- (20)遠藤英俊(共著)、介護保険標準テキスト、高齢者ケアサービス体制委員会編、長寿社会開発センター、東京、1998.
- (22)遠藤英俊(監修)、ケアマネジメント用語集、日本総合研究所、名古屋、1998.
- (23)遠藤英俊、各国の痴呆性老人に対する家族の態度 シンガポールにおける痴呆性老人に対する中国人家族のケア、老年精神医学雑誌、第9巻第2号、143-145,1998.2.
- (24)遠藤英俊、在宅介護の問題点、第39回日本老年医学会学術集会記録<シンポジウムII：老人医療と介護保険をめぐる諸問題>、日本老年医学会雑誌、34,12,987-989,1997,12.
- (25)遠藤英俊、専門医に聞く 高齢者薬物療法のポイント、GERONTOLOGY-NEW HORIZON、1997.
- (26)Endo H,Tajima T,Yamada H,Igata A,Yamamoto Y,Tsuchida H,Nakashima Y,Suzuki Y,Ikari H,Iguchi A. Pharmacokinetic study of aniracetam in elderly patients with cerebrovascular disease, Behavioral Brain Research 83,243-244,1997.
- (27)遠藤英俊、青柳公夫、曾我幸子、丹羽典彦、森本和宏、鈴木俊夫、ケアマネジメントを共通言語とするために、介護保険とケアマネジメントーいま各職種はどう考えているか、医療'97、メヂカルフレンド社、13,5,1997,5.
- (28)遠藤英俊、介護保険標準テキスト、高齢者ケアサービス体制委員会編、長寿開発センター、東京、1997.
- (29)遠藤英俊、ケアマネジメント用語集、日本総合研究所、名古屋、1997.
- (30)遠藤英俊、青柳公夫、阪口英夫、鈴木俊夫、中島俊朗、歯科訪問診療ーキュアからケアへー、株式会社G C、G C友の会No.77、20-25、東京、1997.
- (31)遠藤英俊、青柳公夫、糸田昌隆、栗崎吉博、阪口英夫、鈴木俊夫、東松信平、永長周一郎、中島俊朗、夏目長門、長谷川幸子、本杉照行、中山克巳、介護保険と口腔ケアー基礎から実践までー、財団法人口腔保健協会、1997.東京
- (32)遠藤英俊、高齢者ケアチームのための口腔ケアプラン、厚生科学研究所、東京、1997.
- (33)遠藤英俊、高齢者の総合診療・尿失禁(心とからだの相談室)、毎日ライフ10、101-102、1997.
- (34)遠藤英俊、高齢者の病気・脳血管障害(高齢者のかかりやすい病気)、毎日ライフ5、36-38、1997.
- (35)遠藤英俊、ケアマネジメントにおけるパソコンの活用、日経メディカル11,36-38,1997.
- (36)遠藤英俊、高齢者の脳血管障害、毎日ライフ(5)、毎日新聞社36-38,1997.
- (37)遠藤英俊、在宅死の条件、幸せな死のために、文芸春秋臨時増刊号、93-94,1997.
- (38)遠藤英俊、痴呆の危険因子と知的機能低下度による早期診断の検討、老年期痴呆研究会誌9,121-132,1996.
- (39)遠藤英俊、田畑 治、星野和実、佐藤朗子、坪井さとみ、橋本 剛、青年期における孫・祖父母関係評価尺度の作成、心理学研究67(5),375-381,1996.
- (40)遠藤英俊、下方浩史、井口昭久、生物学的年齢の評価と指標、第38回日本老年医学会学術集会記録、<シンポジウムIII：老化の評価と指標>、日本老年医学界雑誌、33,11,806-810,1996,11.

- (41)遠藤英俊、下方浩史、葛谷文男、老化に関する縦断研究マニュアル（葛谷文男、下方浩史編）、診断と治療社、東京、1996.
- (42)遠藤英俊、田島稔久、熊谷隆浩、山田英雄、村上宣之、木村昌之、伊藤いづみ、東山隆志、井形昭弘、牛田等、細川武彦、進藤和明、名倉英一、須藤賢一、高須良之、等浸透圧X線コード造影剤イオジキサノールの高齢者における薬物動態ならびに有用性の検討、ライフサイエンス出版、23.12.277(3421)-289(3433),1995,12.
- (43)遠藤英俊、名倉英一、木村昌之、細川武彦、大石和美、山田英雄、井形昭弘、高齢患者の医療意識の検討、日本老年医学会雑誌、31,11,889-898,1994,11.

平成 12 年度  
厚生科学研究費補助金／II 総合的プロジェクト研究分野

長寿科学総合研究事業  
高齢者脳機能賦活療法の開発に関する研究事業 (H11- 長寿 - 026)  
研究報告集

発行：平成 13 年 3 月  
発行所：愛知県大府市森岡町源吾 36-3  
国立療養所中部病院  
TEL／0562-46-2311 FAX／0562-44-6593  
発行者：遠藤英俊

